

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

| | | |
|----------------|-------------------|--|
| 実践年度・タイトル | | 令和(元)年度 |
| | | 児童生徒の最近接の課題を適切に設定し、できることへと導くための指導の工夫 ～「自分を振り返り次に生かす力、困ったことを人に伝える力」を育てる指導について～ |
| 授業について | 教科名等 | <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他() |
| | 単元・題材名 | 作って配ろう |
| | 授業の目標 | ・相手の話を聞いてからそれに応じて話す体験を重ねる、相手に合わせた行動が取れるようになる。 (コミュニケーション活動を通して自己統制力の向上を図る。) |
| | 学力の3要素 | <input type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」 |
| 学習集団と子供の実態 | 学校・学部・学年・人数 | <input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (4・6)年 (6)人 |
| | 対象の障害 | <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他 |
| | 子供の困難さ | <input type="checkbox"/> 見ること <input checked="" type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input checked="" type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・過去にあったこと、自分たちの行動を振り返ることが難しい。 |
| 支援機器等教材の活用について | 活用の意図 | Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input checked="" type="checkbox"/> D1実態把握支援) ・映像を見ることが好きで、特に自分たちが映し出されるものについては興味関心を持って見ることができると、活動内容をより詳しく理解させるために支援機器を活用した。また、自分自身の行動の様子を客観的に見せることによって、他者との関わりについてより深く考えさせるようにするため。 |
| | 使用した支援機器等教材の名称と画像 | 支援機器:iPad アプリケーション:カメラ 写真    |
| 授業展開 | 授業展開・支援の手立て | 生活単元学習で、月曜日に注文を取り、水曜日にカップケーキを作って配達する流れで授業を行った。注文票を各自が持って行き、客の名前、カップケーキのトッピングの種類を聞いて注文票に書くようにした。注文票が手順表となるので、見ながら流れに沿ってやり取りが成立するようにした。文字の読み・表記が苦手な児童に対しては、客に注文票を渡して書いてもらうスタイルを取った。職員室、保健室等の教職員に対し、事前に「授業の内容、目的、訪問日時」などを伝え、対応についての協力依頼を行った。また、職員から簡単な質問をしてもらうようにした。注文を取りに行く前には、それぞれの目標を確認し、教室で基本的なやり取りや、質問をされたときの答え方についての練習を行った。質問されたら考えて答えること、考えても分からなかったときや困った状況になったときには「分かりません。」と言えばよいことを伝えた。 授業の振り返りは、注文のやり取りの様子を撮影した動画を見ながら、振り返りカード表に○△を記入するようにした。評価は、「言った、言わなかった」「やった、やらなかった」のシンプルなものにし、児童が評価しやすいようにした。動画を見て、上手くできたことを実感し、意欲や自信へ繋がり、また、上手くできなかったところを振り返り、次は頑張ろうと思うことを期待した。また、次回の授業の最初には、動画のスクリーンショットを振り返りカードに貼って、練習前に意識させるようにした。   |
| 効果・評価 | 子供の様子や変容および授業の評価 | 活動の様子を動画で撮影することは児童にとっては特別感があり、「格好よいところを見せなくては」という気持ちが働いていたようである。振り返り時に、自分の様子を動画で見ることをとても楽しみにしていた。動画を見ながら「できた」かどうか判断することができたので、曖昧な記憶を基にした判断よりも児童たちは納得して振り返りができたようである。また、活動の前に前回の動画から作成したスクリーンショットに注意事項を付け加えて提示すると、気を付けることを言葉や文字だけで提示するよりも、意識付けができた。 |